

<令和元年度自己点検評価>

◆教育方針

① 即戦力として活躍できる実務教育

- 実践教育を目指し、実習重視の傾向が強く座学へのフォロー体制に弱点がみられ、実習においても成果物の評価の減少がみられた。

評価：2

- キャリア教育の推進については積極的に取り組めた。

評価：3

- 本年度は2講座の授業内容の改善を行うことができた。

評価：3

*総評：国家試験対策に傾注する傾向がみられ、実務教育の実践に消極的であった

② 学生に対し責任を持ち、信頼される教育

- 2名の退学者と合格率の低下

評価：2

- 試験対策授業（座学）は一定の成果がみられた。

評価：4

- グループワークを中心に学生のやる気と意欲を支援し、粘り強く取り組むことの大切さを理解させた。

評価：3

*総評：学生指導の目標値にばらつきがみられた

③ 学生と教職員のコミュニケーションの通う少人数教育

- 一人一人に対応した指導による、個性豊かな人間教育。

教職員の経験不足

評価：2

- エゴグラムならびにアンケート結果により日常の生活や悩みに対応した。（分析：難点）

評価：2

- 卒業生全員が就職した。

評価：4

*総評：学生とのコミュニケーションに偏りに工夫が必要。

◆学習支援・教育環境

1、交流・連携

- 総合学科高校校長会への新規働きかけ（専修学校各種学校協会）
- 学園広報担当者の教務との共有化・・・OC委員会
- 私立学校協会との交流・・・・・・・・年2回情報交換
- 業界広報との連携を深め情報収集をまめに行った。
- サロンデモを体験入学に導入した。

評価：3

*学生中心の委員会の中での指導にバラツキがみられた

- 2、専修学校協会との連携を密にし、県教育推進プログラム
「仕事のまなびば」事業への参画ならびに「チャレンジスクール」
事業への積極的に参画し、キャリア教育の推進を図る。
(各3講座実施)
*神奈川県人づくり推進ネットワークとの協働。
*総評：厳しいスケジュールの中でもしかりと実施できた
- 評価：4
- 3、産学公連携「若年無業者」講座への企画立案（1講座）
*総評： 企画の立案に対する情報不足があった
- 評価：2
- 4、教職員福利厚生への検討。
・理美容教育センター社員校の活用し、教員2名資格取得
*総評：継続的に取得してゆきたい（1人2教科）
- 評価：3
- 5、校長研修会・教職員研修会・職業教育研修会への積極的な参加。
・専各研修や理美容教育センターの研修、また、関東地区の
研修に参加をし、積極的に他校との情報交換を行った。
国家試験合同模試へのアプローチ（アイム湘南・全国模試）
*総評：有効な研修内容の吟味が必要
- 評価：3
- 6、専門学校委員会への積極的な参画
・高校への実質的なアプローチの為、専門学校委員会事業への参加。
・専門学校各種学校主催校内ガイダンスならびに進学ガイダンスへ
積極的に参加した。
・他校情報の収集・分析
*総評：予算の面で苦労したが、次年度に生かせる情報が取得できた
- 評価：
- 7、危機管理対策の検討と充実。
個人情報保護法に関する学園個人データの扱いや、学園情報の
セキュリティー・著作権・HPなどの管理対策の構築、ならびに
私立学校法の改正に伴った寄付行為の変更に基づく学園運営の基盤の再
認識（役員会等）。
マイナンバー制度に対する学内規定の遵守。
避難訓練、救急救命講習への受講。
*総評：再検討が必要、HPリニューアル
- 評価：3

8、美容学科カリキュラムの充実と学科の再編

* 国家試験対策の体系化と実習授業の再編

* ヘアショーの充実

* ニーズに合った演習コースの検討

評価：3

総評：職業実践専門課程、学費支援等要構築

9、校外活動・体験学習の充実

(学内ゼミの開催や作品制作。各種ボランティアへの積極的な参加)

(JC・MU・HD 各ゼミ充実)

評価：4

* 総評：文化論ゼミは特に充実したゼミとなった

10、美容関連の公開講座の企画実践

(在校生・卒業生・業界対象)

・27年度：クリニカルアート講座実施、継続検討

評価：3

* 総評：美容関連講座の検討が必要

11、美容分野を活用した、各種セミナーの施策、検討・実施

評価：2

* 総評：特になし

12、県立高等学校とのコンソーシアム企画立案と実践

(令和元年度：1講座登録)

評価：3

* 総評：県教委との信頼関係を気付くことができた。

評価1：速やかに改善。

評価2：改善すべき点と改善計画が求められる。

評価3：計画通り実施できている。

評価4：教職員との共有がはかられ、結果として表れている。

評価5：さらなる向上が期待できる。